

新宮山彦ぐるーぷ第1946回

行仙宿巡回(台風18号の被害調査等)

◇実施日；2017年09月21日(木) 晴
◇参加者；梶野照雄。

1名。

9月17日に大型の台風18号が明石市付近に再上陸、各地で強い風と雨が観測されていた。行仙宿水場は、先月の台風5号の豪雨で大量の落石によって埋まり、復元したばかりである。又、一月の豪雪の後には、モノレールに倒木があった事などもあり、台風の被害調査の必要を感じて、お天気の安定した日を選んで行仙宿へ向かった。同時に、わが家を片付ける必要が生じたことから、不要になっていた石油ストーブ(芯上下式)と棚板、棚受けなどを行仙小屋に荷揚げした。

午前9時半に出発し橋本、五條経由で登山口に12時40分着。大淀町で調達した弁当を食べる。R425から林道にかけても落石は無く、スムーズに走行で来た。



カバーが外れていた



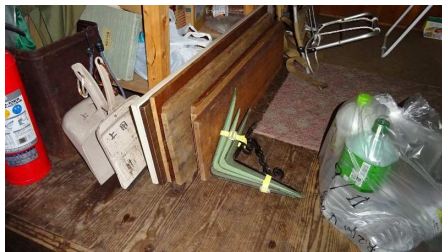
第2ベンチで



倒れたベンチ(佐田の辻)

靴を履き替えてモノレールを降ろす。荷台カバーが風で外れていたが、駐機場までの登山道に障害は無かった。

第二ベンチで休憩して、午後2時に行仙宿到着、ベンチが一つ倒れていたが、登山道に異常なし。石油ストーブを管理棟に置いて棚板、棚受け等を小屋に入れた。見渡したところ小屋の周りに異常なし。極端に強い風は吹かなかったようだ。



管理棟に石油ストーブ

棚板は小屋に

デポされた水

小屋の入口に近いところにペットボトルに入った水が置いてあった。日付と名前が書いてあるが、日にちはとくに過ぎていない。デポした日付なのか、使用予定の日付なのか判然としないのでそのままにしておいた。

ノコと熊手を持って水場に降りる。すぐに直径5cm程の枯木が倒れ込んでいた。ノコは必要なく、簡単に除けることができた。水場は復活していた。水量はさほど多くはないが、オーバーフローした流れは充分にある。先日、落石を全部底浚えしたのに、手前に石が溜まっている。汲み上げる深さは満たしているが、せつかく降りてきたので雪平鍋を使って石を全部取り除いた。水が溜まるのを5分ほど待ってみたが、2cm程の深さになったのを見届けて小屋に戻る。熊手で小枝や枯葉を掃きながら登ると時間が気

にならないことが判った。



水場に降り始めてすぐ枯木倒木

小石が溜まっていた

小屋に戻って倒れていたベンチを起こし、奥駈道を南に向かう。から池付近に倒木が道を横切っていた。根元が腐っていたのでノコを使うことなく東側の斜面に落とした。その先で途中が折れた木があり、ここでやっとノコの出番となった。あまり進むと帰りが遅くなるので、22番鉄塔まで引き返した。



底浚え完了

から池付近で

22番鉄塔で引き返す

午後3時40分下山開始、駐機場でタンクに燃料を補給して4時17分に登山口を離れた。途中、池神社でお湯を沸かしてカップ麺を食べ、ほぼノンストップで午後7時半に帰宅した。

行動タイム

12:40補給路登山口13:00→14:00行仙宿14:17→14:30水場14:52
→15:11行仙宿→15:20 22番鉄塔→15:30行仙宿15:40→16:15
補給路登山口。

(記：梶野)